

シラバス閲覧時注意事項	<p>全15回のうち、14回の講義は、Zoomを用いたオンライン授業となります。最終講義はオンデマンド講義となります。必要な情報は、下記ないしWebclassに掲載しておきますので、講義中はそちらからログインください。</p> <p>※Zoomの接続情報については、下記Boxリンク、またはWebClass掲載情報をご確認ください。</p> <p><a href="https://tdu.box.com/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx">https://tdu.box.com/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx</a> (URLは4月(9月)初旬までに設定予定です) 不明なことがある場合は、下記のメールアドレスまでご連絡ください。</p>
-------------	--

授業コード	11G0191501	科目ナンバリング	【事務局投入項目】
授業名	歴史理解の基礎 (月1クラス)		
英文名	Basic Factors of History		
開講年度学期	2026年度前期	曜日・時限	月曜1限
単位数	2.0単位		
教室			
担当教員(先頭者が主担当)	中島 浩貴	授業形態	【事務局投入項目】
メディア科目	【事務局投入項目】	オープン科目	【事務局投入項目】

目的概要	本講義では、歴史を学ぶなかで人間と社会を深く理解する土台を築きます。人間は、有史以来、様々なことを記録し、語り継いできました。その一方で、歴史に関するものの見方は大きく揺れ動いてきました。古代から現代にかけての歴史の捉え方を学ぶなかで、私たちは現在をも客観的に見ることが可能となります。歴史を学ぶなかで、グローバルな国際社会がつくられてきた背景を理解し、私たち自身の立ち位置を確認することができます。そして、歴史的事実を批判的に捉えるなかで、フェイクニュースや主観的な情報の問題点を見抜く視点を身につけることが目的となります。
達成目標	<p>(1) 歴史的視野に立って、国際化した社会を理解できる。</p> <p>(2) 日本と諸外国との相互関係がどうあるべきかを考えることができる。</p> <p>(3) 歴史における「事実」と「解釈」の違いを理解できる。</p>
関連科目	関連分野として、「戦争と平和の歴史」「グローバル時代の文化・歴史／欧米文化研究」「人間科学プロジェクト／教養ゼミナール(中島)」、「多文化コミュニケーション」の履修を推奨します。
履修条件	とくになし。
教科書名	新谷卓、中島浩貴、鈴木健雄編著『歴史のなかのラディカリズム』彩流社、2021年。
参考書名	トーマス・キューネ、ベンヤミン・ツィーマン編『軍事史とは何か』原書房、2017年ほか、講義中に詳しく述べる。
評価方法	授業中提出課題20パーセント+レポート80パーセント
課題に対するフィードバック方法	(第13回) 第14回で実施するレポートに関する事前説明と、それまでの提出課題に関する全体講評を行う。 (オンデマンド回) 第14回で実施したレポートに関する採点評価に関する説明を行う。
学習・教育目標との対応	【工学部電気電子工学科 (JABEEプログラム)】(A)人間としての教養を身につける。
DPとの対応(2017年以降入学者用)	【事務局投入項目】
アクティブラーニングの実施	講義では相互コミュニケーションを重視します。教員、学生間でできるだけ意思の疎通をはかるようにし、基本的な知識の確認、疑問点などを通して、理解の促進と深化を図ります。講義内容に関する興味関心を高めるため、簡単なビブリオバトルを行う予定です。
ICTの活用	<p>この科目はオープン科目として設定されており、鳩山及び千住校舎の学生が履修可能です。</p> <p>講義形態は、Zoomのオンライン配信となりますので、時間になったらログインください。講義の受講に関しては、初回に詳細にアナウンスします。</p> <p>※Zoomの接続情報については、下記Boxリンク、またはWebClass掲載情報をご確認ください。</p> <p><a href="https://tdu.box.com/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx">https://tdu.box.com/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx</a> (URLは4月(9月)初旬までに設定予定です)</p>
実践的教育科目	該当なし。
自由記載欄	
オンデマンド講義情報	<p>【学習時期】 14回目の講義終了後、10日以内。詳細は講義中に指摘します。</p> <p>【学習内容】 講義のまとめ(90分)</p> <p>【教材の視聴方法】 Webclassから閲覧できるように設定します。14回目の講義終了後に、教材を視聴してください。</p> <p>【事前・事後学習】 オンデマンド教材で、提示された課題を提出してください。</p>

第1回	<p>授業概要について／歴史とは何か</p> <p>【事前・事後学習】 シラバスを確認し、講義内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を探しておくこと。(計190分)</p>
第2回	<p>宗教と歴史―『旧約聖書』では歴史はどのように書かれていたのか。</p> <p>【事前・事後学習】 講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読んでおくこと。(計190分)</p>

第3回	古代ギリシア・ローマ人と歴史——人間、政治と戦争の歴史 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。(計190分)
第4回	中世ヨーロッパの歴史——宗教的な影響力の強い歴史 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておくこと。(計190分)
第5回	近世・近代の歴史学——人間主義、哲学的な歴史の見方 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。(計190分)
第6回	近代の歴史学——実証主義的歴史学、社会科学としての歴史 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。(計190分)
第7回	現代の歴史学（1）——伝統的政治史から多様化へ（社会構造史、社会史、ジェンダー史） 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておくこと。(計190分)
第8回	現代の歴史学（2）——あたらしい歴史学（軍事史、文化史、グローバルヒストリー）の実例を検討する 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。(計190分)
第9回	現代の歴史学（3）——あたらしい歴史学の実例を検討する 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。(計190分)
第10回	現代の歴史学（4）——歴史と映像 【事前・事後学習】講義中に見たドキュメンタリー・映画について、レポートを作成、提出してください。(計190分)
第11回	日本の歴史学（1）——明治から2000年頃までの日本の歴史学の動き 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておくこと。(計190分)
第12回	日本の歴史学（2）——日本における映像のなかの歴史 【事前・事後学習】講義中に見たドキュメンタリー・映画について、レポートを作成、提出してください。(計190分)
第13回	歴史学と現在 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。(計190分)
第14回	総復習（レポート含む） 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。(計190分)
E-Mail address	hirokinakajima@mail.dendai.ac.jp
質問への対応（オフィスアワー等）	鳩山校舎1号館4階1444研究室（中島浩貴研究室）で受け付けます。オフィスアワーは月曜3限です。 メールやZoomでの相談も可能です。 講義や会議がある場合がありますので、事前に連絡をお願いします。
備考	講義が中心です。わかりやすく話しますが、わからないことがあれば講義中にかまわず質問してください。歓迎します。なお、補助として映像を活用します。